

明倫新聞

発行：「学校を元気に」の新聞部
石川県立野々市
明倫高等学校
野々市市下林3-309

生徒会 明倫祭を語る

明倫祭終了後、生徒会により明倫祭についてのアンケートが実施された。このアンケートをもとに、新聞部は生徒会にインタビューを行い、明倫祭に対してのそれぞれの思いを聞いた。

——明倫祭の運営について、成功したと思うことは何ですか。

栗村「フリーステージじゃない？来年から出たいって人が結構一年生でいたって話だから、いい方向には持っていけたと思っただけ。一番の収穫であり、それ以外成功と言えるものがそこまで大きくない。一応、期間に全部間に合わせられるようには生徒会側でも頑張ったかなって思う。成功と言っているなら成功かな」

金平「中止にならなかった、それだけでも全国的には本当にも色々な学校が中止になって出来ない学校もいっぱいあったから、出来たこと自体にも価値はある。終わった後も、誰も感染者は出なかった」

西野「二年生の模擬

店ができてよかったと思う。何もなしになつたら三年生の来る理由がなくなつちやうかなと思いましたが。今後も、難しいかもしれないですけど、他の会社、飲食店とかに任せて委託みたいな感じで販売するのも一部ありかなと思いましたが。——逆に失敗したと思うことは。

栗村「コロナが来てしまったことかな。二日目が消えてしまつて、模擬店も調理なし、二年生もステージ発表だけ。一方でフリーステージに人をとられて一年生の企画にあまり人がいけなかった。フリーステージが大きすぎてデメリツトがでかくなつてしまつたよね」

金平「クラス企画もできるものが限られていた。フリーステージは、出し物が一回しかなかったし、見たいつてグループがいたら、そこに人が集中してしまつた」

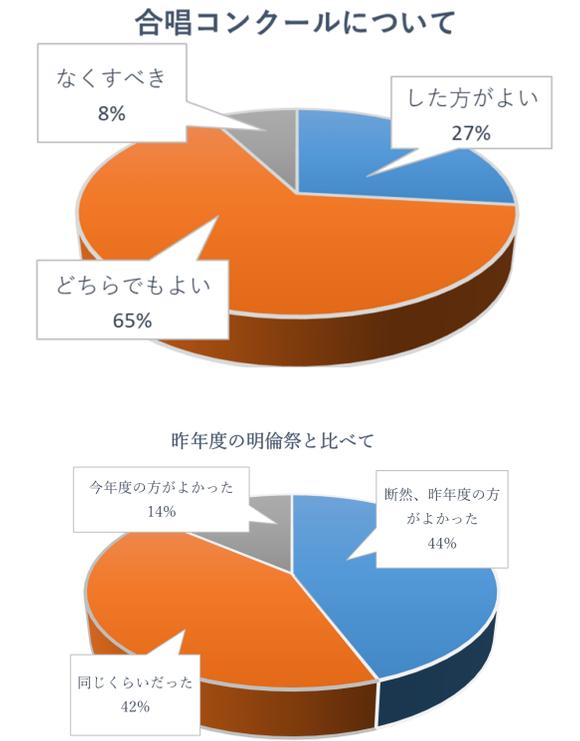
栗村「お化け屋敷ができなかったこともあるかな。例年、大人数で大盛り上がり。できればのぼりも見たかったな。復活するかわからないけど、各クラスの個性が出ていていいと思うよ。コロナがあつた中でこれだけできたことは最高といえれば最高かもしれないけど、例年通りのもので楽しんでもらえなかったことは俺の中で失敗です」

西野「でも難しい中では、頑張つたと思つて、生徒のコロナ感染予防対策はできていましたか。」

栗村「フリーステージが密になつていたので、反省すべきかな。ダンスでは体育館の1階に椅子が並べてあつて、ある程度対策にはなつてたと思うけど、二階がどうしても雑になつてた」

栗村「そういえば、全部ではないけどマスコを外している人多くない？廊下とか控室で普通に外している人がいて、悲しかった。コロナが出なかつたから結果よしだけれど、出たから責められるから、もう少し意識を高めてほしかつた。なつていうのが俺の心残り」

——今年度は合唱コンクールがアツクありませんでした。アンケートの結果、来年度の実施に



第38回明倫祭アンケートより

生徒会の栗村龍葵さん 金平季樹さん 西野耕平さん



インタビューに答える生徒会。左から金平、栗村、西野＝生徒会室

然、昨年度の方がよかった」と回答した人が多くいました。それはどこに原因があると思いますか。

西野「簡潔に言うならばコロナですね。今回はフリーステージと、二年生のダンス鑑賞を任意にした。午前午後で分けたりした。フリーステージが楽しかつたっていうのはあると思うけど、どうしても二日に分けた方が、一年生も二年生

もやるのが多くて、楽しいかな。」

金平「演出とかで皆で盛り上がるっていうのが音楽堂ではあつた」

栗村「俺からしたらフリーステージ以外全部駄目。準備期間が一週間、マスク着用とソーシャルディスタンスで自分たちのやりたことが全部塞がれた。他にも、調理なし、模擬店、二日目がない、打ち上げも禁止された。『なんのために明倫祭やるの？』そんな

の学校の自己満足でしよ。』ってなる。個人的には全部失敗だと思つた。その代わり、フリーステージが3階ベランダでやると盛り上がるっていう発見ができたから、そういう点ではよかつた。少しは楽しんでくれた人がいて、去年より楽しかつた。感じてくれる人がいてくれたことは嬉しいと思う。三年生として、皆で調理して、楽しく盛り上がりたかった。いつもみたい

編集後記

失敗ばかりだったと言っているけれど、明倫祭が開催できるような工夫を凝らしてくれた生徒会メンバーには心から感謝したい。(安中)

栗村「そういえば、全部ではないけどマスコを外している人多くない？廊下とか控室で普通に外している人がいて、悲しかった。コロナが出なかつたから結果よしだけれど、出たから責められるから、もう少し意識を高めてほしかつた。なつていうのが俺の心残り」

西野「感染拡大とかしなかつたらやつてもいいのかなと思つた。ただ、まだ警戒段階だつたら、遠慮した方がいいなつていうのはあります」

栗村「自主性のある明倫祭を作りたいから任意にした。店番とかで大変な中、一年生の企画を回りたいっていう人もいるかもしれないし、フリーステージを見たいっていう人もいる。目玉企画は注目を浴びる。全員参加にしたなら、『それをするために来ている』感がどうしてもある」

——昨年度の明倫祭と比べて、「断